

ユーザーマニュアル

日本語



ビデオ再生オプション Perception

文書版第 1.0 号 - 2009 年 7 月

Perception 6.04 以降

HBM の規定条件については、ウェブサイト www.hbm.com/terms を参照してください。

HBM GmbH
Im Tiefen See 45
64293 Darmstadt
Germany
電話 : +49 6151 80 30
ファックス : +49 6151 8039100
電子メール : info@hbm.com
www.hbm.com/highspeed

Copyright © 2009

不許複製・禁無断転載。本出版物のどの部分も、
出版者の書面による許可なく、いかなる形式またはいかなる手段によっても、複製または転載することはできません。

使用許諾契約と保証

使用許諾契約と保証の詳細につきましては、www.hbm.com/terms を参照ください。

目次	ページ
1 ビデオ再生オプション	6
1.1 はじめに	6
1.1.1 ビデオプレイバックオプションのインストール方法	6
1.2 映像オブジェクトの追加と削除	7
1.3 映像オブジェクト	8
1.4 映像を再生するためのセットアップ	14
1.5 同期化した映像の再生	17

1 ビデオ再生オプション

1.1 はじめに

Perception のビデオプレイバックオプションにより、記録した波形や映像/音声ストリームの同期化した再生が可能になります。このオプションは映像とデータを組み合わせ、映像フレーム速度をデータ取得速度に同期化します。同期化を行うと、映像およびデータの中で前後にスクロールを行い、映像とデータを一緒に閲覧することができます。

1.1.1 ビデオプレイバックオプションのインストール方法

Perception のソフトウェアには HASP キーが必要です。HASP (違法コピーソフトウェア防止ハードウェア) は、ソフトウェアアプリケーションの不正使用を防止するハードウェアをベースとした (ハードウェアキーによる) ソフトウェアの違法コピー防止システムです。

それぞれの HASP キーには、購入した特性とオプションに応じてアプリケーションをパーソナライズするために使用する固有の ID 番号が含まれています。このキーは、ライセンスパラメータ、アプリケーション、および顧客固有のデータを保存するためにも使用されます。

ビデオプレイバックオプションを個別のアイテムとして購入した場合、パーソナライズされた「キーファイル」が送られます。このファイルを使用して追加機能のロックを解除してください。

ヘルプ ▶ Perception についての順に選択すれば、シリアル番号を見つけることができます。

キー情報の更新方法：

- 1 ヘルプ ▶ キーの更新... の順に選んでください。
- 2 開くダイアログでキーファイル (*.pKey) を見つけ、開くをクリックします。
- 3 問題がなければ、以下のメッセージが表示されます。



イラスト 1.1: ソフトウェアのコピー防止ダイアログ

- 4 OK をクリックします。

インストールを行ったら、ヘルプ ▶ Perception について ▶ 詳細の順に選択し、すべてのオプションがインストールされているか確認してください。

変更を有効化させるために、ソフトウェアを再起動する必要があります。これでビデオプレイバックオプションを使用することが可能です。

1.2 映像オブジェクトの追加と削除

映像オブジェクトを容易にシートに追加することが可能です。シートが「フル」になったら、新しいオブジェクトは追加できません。オブジェクトを交換することもできません。こうした場合は、新しい映像オブジェクトを追加する前にオブジェクトを1つ削除しなければなりません。

オブジェクトは最後にクリックしたエリア、または最後に存在していたエリアに配置されます。



イラスト 1.2: オブジェクトメニュー (空のシートコンテキスト) を追加してください。

映像オブジェクトの追加方法 :

シートにオブジェクトを追加するには、以下のいずれかを実施してください。

- メニューバーで [動的メニュー] ▶ 追加 ▶ 映像の順に選んでください。
- ツールバーに表示されていれば、映像オブジェクトボタンをクリックしてください .
- シートのエリアで右クリックし、コンテキストメニューを呼び出します。コンテキストメニューで追加 ▶ 映像の順で選択してください。

映像オブジェクトの削除方法 :

- 1 削除したい映像オブジェクトを選択してください。
- 2 映像オブジェクトを右クリックしてコンテキストメニューにアクセスします。
- 3 コンテキストメニューで映像[名前]を削除をクリックしてください。
- 4 確認ダイアログが表示された OK をクリックしてください。

1.3 映像オブジェクト

映像オブジェクトは、映像エリアとコントロールエリアという2つの主要なエリアで構成されます。

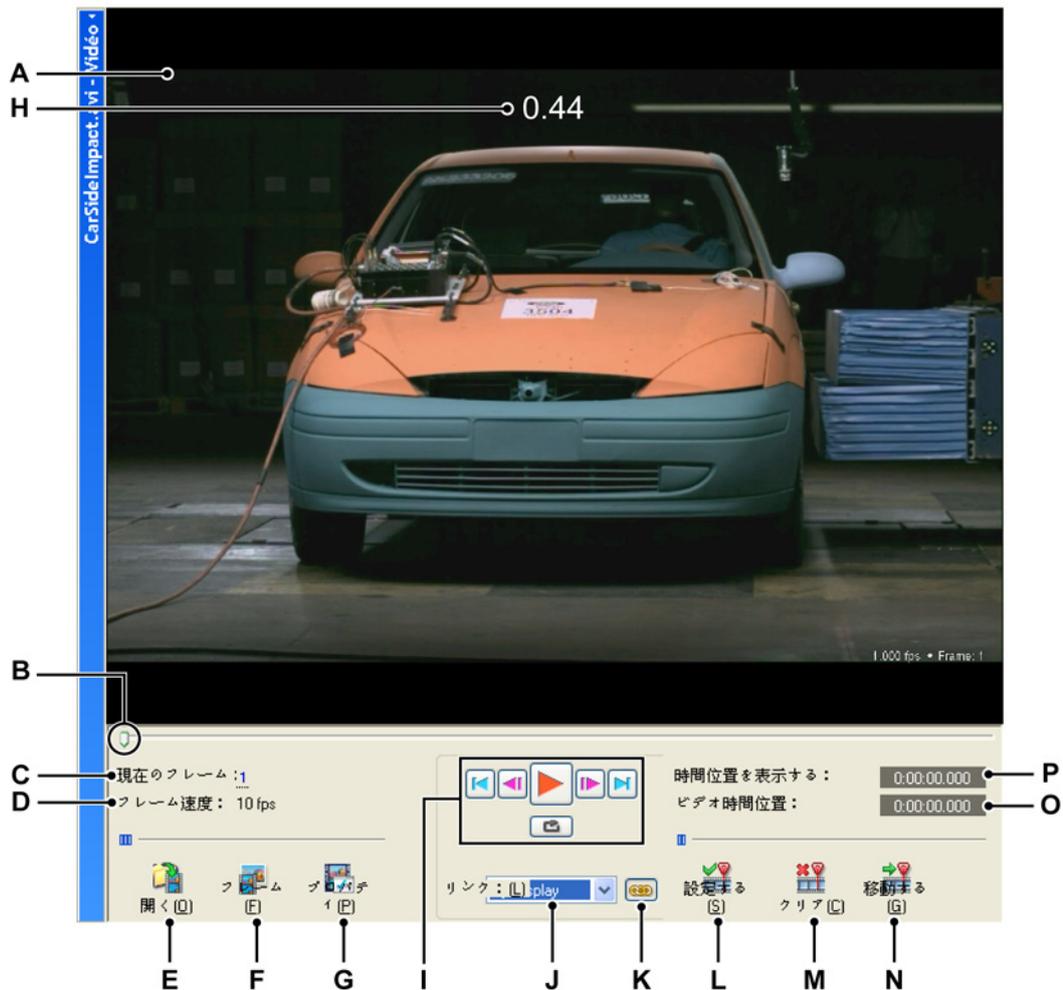


イラスト 1.3: 映像オブジェクト

- A 映像エリア
- B 時間ライン/ジョグスライダ
- C 現在のフレーム/コントロール
- D 選択されたフレーム速度
- E 映像ファイルを開きます
- F フレームをクリップボードにコピーする
- G 映像のプロパティ
- H オーバーレイ
- I 再生のコントロール

- J リンク元を選択する
 - K リンクを有効化する
 - L 同期ポイントを設定する
 - M 同期化ポイントをクリアする
 - N 同期ポイントに進む
 - O 映像の時間位置
 - P 時間位置を表示する
- A 映像エリア**これは、映像が表示されるエリアです。映像オブジェクトのサイズを変更したり、コントロールパネルを非表示すると、それに応じて映像のサイズが変更されます。
- B 位置インジケータ/スライダ**このインジケータは、映像の時間における現在位置を示します。このインジケータをハンドルとして使用してドラッグし、データの中を低速で移動することができます。
- C 現在のフレーム**
マウスのカーソルを当てるか、点を使って強調表示された**現在のフレーム**フィールドをクリックすると有効化する内蔵型コマンドが数多く存在します。

現在のフレーム :4

イラスト 1.4: 現在のフレーム

Perception の他のエリアと同様に、点はフレームの中を容易にナビゲートすることが可能な「ドラッグ」や「スクロール」など、非表示となっている他のショートカット機能が存在していることを示しています。

- D フレーム速度**
Properties の中で設定されている毎秒のフレーム数です。
- E Open (開く)** 
映像ファイルを開きます。
- F フレーム** 
このボタンをクリックして、現在のフレーム Windows クリップボードに保存し、グラフィックや Office プログラムに貼り付けます。

G プロパティ

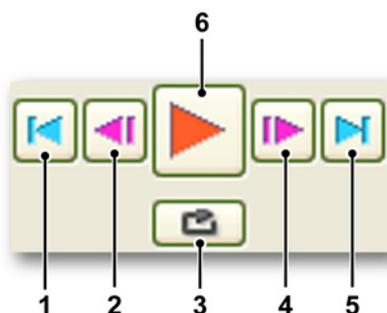
プロパティダイアログでは、以下を行うことができます。

- 映像の**表示名**を変更します。
- 映像の**フレーム速度**を調整するか、選択されたファイルの特定のフレーム速度を使用します。
- 映像の**再生速度**を最高 8 倍まで設定します。
- 選択した**オーバーレイテキスト**を映像モジュールに加えます。

H オーバーレイ

オーバーレイテキストボックスをチェックして、 アイコンをクリックすることで、テキストおよび (または) データソースをオーバーレイとして挿入することができます。データはオーバーレイとして映像に追加されるため、映像をスクロールしながら必要に応じて映像の上でそのデータを容易に閲覧することができます。

- I **再生コントロール**多くが VCR または DVD プレーヤの再生コントロールに類似している一連のコントロール。



- 1 **最初に移動**左の矢印をクリックして、映像の最初に移動します。
- 2 **ステップフレーム**このボタンを押すと、1つ後のフレームに移動します。
- 3 **ループ**このボタンを押すと、停止されるまで映像のループ再生が継続されます。
- 4 **ステップフレーム**このボタンを押すと、1つ前のフレームに移動します。
- 5 **最後に移動**右の矢印をクリックして、映像の最後に移動します。
- 6 **再生**

J リンク元を選択する

K 選択した表示部にリンクする

リンクボックスで希望する表示を選択した後、リンクボタンをクリックすると、選択した表示部へのリンクと同期化が行われます。

- ボタンが上を向いている：リンクされていません。
- ボタンが下を向いている：リンクされています。

以下に、オプションの設定とリンクの組み合わせの概要を示します。

設定ポイント	リンクされています。	結果
いいえ	いいえ	データと映像は完全に分離し、独立しています。
いいえ	はい	データと映像は最初からリンクされています。
はい	いいえ	映像とデータストリームは設定ポイントを保存しています。
はい	はい	映像とデータは設定ポイントを持ち、それらはリンクし、同期化しています。

L 設定

同期化ポイントとして参照したいデータと映像の位置でこのボタンをクリックします。

M クリア

新しい同期化ポイントを選択する必要がある場合、またはデータのリンクポイントの設定をやり直す必要がある場合、リンクが確立していないことを確認して最初にクリアをクリックしてください。

N 移動する

リンクされている場合、このボタンをクリックして同期化ポイントに移動します。

O 映像の時間位置

これにより、現在の映像に関する時間が表示されます。

P 時間位置を表示する

これにより、波形データに関する時間が表示されます。

詳細なプロパティ

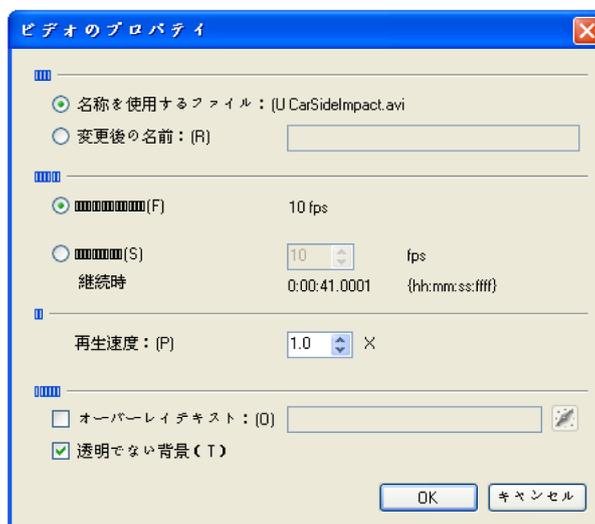


イラスト 1.5: 映像プロパティのダイアログ

映像プロパティのダイアログのオプションは以下の通りです。

表示部名

表示される映像の名前はこの入力フィールドで変更することができます。

フレーム速度

フレーム速度は映像フレーム速度に合わせて自動的に定義されるべきですが、**フレーム速度を設定する**をクリックし、入力フィールドでフレーム速度を変更することで、プロパティ内でこれを変更することができます。

ノート 以下の理由により、フレーム速度が変更されると継続時間も変更されます。
 $継続時間 = フレーム速度 \times 秒$

再生

ここで、映像の再生速度を通常の速度の 8 倍まで高めることが可能です。

オーバーレイ

オーバーレイテキストボックスをチェックして、 アイコンをクリックすることで、テキストおよび (または) データソースをオーバーレイとして挿入することができます。データはオーバーレイとして映像に追加されるため、映像をスクロールしながら必要に応じて映像の上でそのデータを容易に閲覧することができます。

- ノート
1. オーバーレイを変更する必要がある場合、他のオーバーレイを選択する前に入力フィールドを完全にクリアしてください。
 2. チェックボックス**非透明の背景**をチェックすると、オーバーレイがソリッドとなり、再生する映像が部分的に覆われます。

1.4 映像を再生するためのセットアップ

映像のセットアップを行うには、データと映像のソースをセットアップし、設定ポイントと映像フレーム速度を定義する必要があります。

映像を開く方法

- 1 映像エリアにある開くアイコンをクリックすると映像ファイルを開くダイアログが表示されるため、映像を一つ選択してください。また、動的シートメニューを開いた後、ファイルから映像ファイルを開くをクリックすると、映像ファイルを開くダイアログが表示されるため、映像を選択してください。

映像とデータの同期化



イラスト 1.6: 同期化の設定

一連のデータと映像が開いたら、それらを同期化することができます。同期化を行うことで、同期化ポイントを設定して異なるデータ率と映像率を揃え、データと映像を一緒にスクロールすることができます。

映像とデータの中の認識可能なトリガポイントにナビゲートし、同期化の下にある設定をクリックします。これにより、移動する (Go to) をクリックすることでリンクされたときに戻ることができる映像とデータの中に単一の同期化ポイントが設定されます。



イラスト 1.7: トリガポイントの映像スナップショット

段階的な補正

- 1 デisplayに使用可能なデータが存在することを確認します。
- 2 開くを開いて映像を読み込みます。
- 3 ドロップダウンボックスでリンク元を選択します。
- 4 データの中で、関心ポイントに移動します。
- 5 映像の中で、関心ポイントに移動します。
- 6 設定をクリックして、関心ポイントをメモリに保存します。

ノート この時点ではデータと映像がまだリンクされていないため、カーソルを使ってデータを、スライダを使って映像をそれぞれナビゲートすることができます。

- 7 リンクをクリックして同期化を実行します。
- 8 オプションとして、フレーム速度および (または) 再生速度をプロパティで設定します。
- 9 移動 (Go to) をクリックしてリンクポイントを確認します。

以下のイラスト 1.8 は、映像とデータにある個別の設定ポイント、およびこれら 2 つのポイントをリンクさせるリンクボタンを示しています。

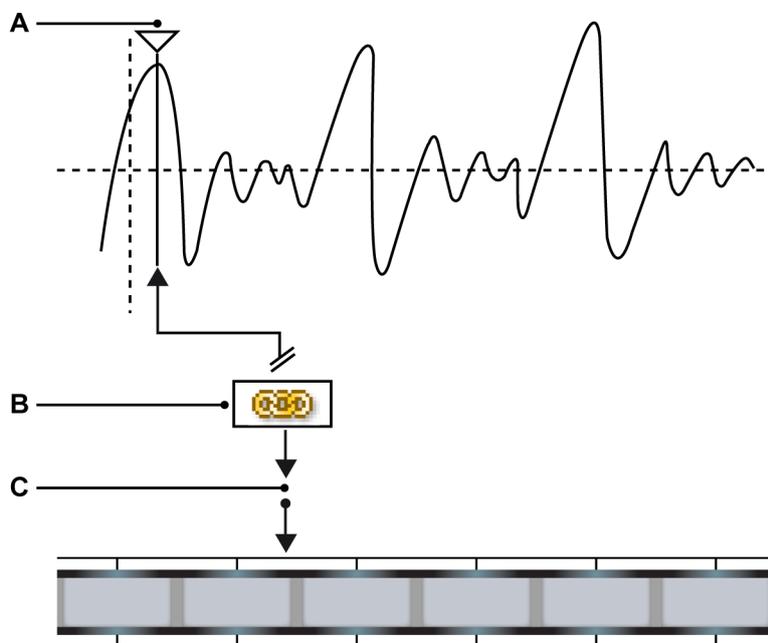


イラスト 1.8: データと映像ファイルのリンク

- A カーソルの設定ポイント
- B リンクボタン
- C 映像設定ポイント

では、リンクポイントが設定され、リンクボタンが押されるときにリンクおよび同期化されるデータストリームと映像ストリームを示しています。

ノート リンクが行われると、**移動 (Go to)** ボタンはデータと映像の両方に対して作用し、データとビデオのリンクを解除するまで設定ポイントを変更することはできません。

1.5 同期化した映像の再生

設定ポイントとフレーム速度がリンクされていれば、同期化した再生を開始することができます。

映像の再生、巻き戻し、または段階的な再生を行うと、それに応じてデータ内でカーソルが移動し、映像フレームのトラッキングが行われます。さらに：データディスプレイの中でカーソルをドラッグすると、それに応じて映像が移動します。

映像再生コントロール：

映像を再生するには、以下のいずれかを実施してください。

-  映像を再生するには、**再生/一時停止**ボタンをクリックしてください。
-  映像を一時停止するには、**再生/一時停止**ボタンをクリックしてください。現在の位置で映像が停止します。
-  映像の最初に移動するには、**最初に移動**ボタンをクリックしてください。
-  映像の最後に移動するには、**最後に移動**ボタンをクリックしてください。
-  一つ前のフレームに移動するには、**前のフレーム**ボタンをクリックしてください。
-  一つ後のフレームに移動するには、**後のフレーム**ボタンをクリックしてください。

代替的な映像コントロール

現在のフレーム :4

イラスト 1.9: 現在のフレーム

データナビゲーション用のカーソル、または映像ナビゲーション用のジョグスライダを通常の方法で使用して、ナビゲートすることができます。ただし、リンクが確立している場合、これらのコントロール機能もリンクされています。現在のフレームフィールドで、クリックおよびドラッグすることができます。

4



映像を戻すときは左、進めるときは右となります。

また、一回クリックして、マウススクロールホイールを有効化することも可能です。

4



フレームの中を迅速かつ正確にスクロールします。

索引

*

ジョグスライダ	8
使用許諾契約	3
保証	3
再生のコントロール	8
映像	7
映像オブジェクト	8
映像オブジェクトを削除	7
映像オブジェクトを追加	7

Head Office

HBM

Im Tiefen See 45
64293 Darmstadt
Germany
Tel: +49 6151 8030
Email: info@hbm.com

France

HBM France SAS

46 rue du Champoreux
BP76
91542 Mennecy Cedex
Tél: +33 (0)1 69 90 63 70
Fax: +33 (0) 1 69 90 63 80
Email: info@fr.hbm.com

Germany

HBM Sales Office

Carl-Zeiss-Ring 11-13
85737 Ismaning
Tel: +49 89 92 33 33 0
Email: info@hbm.com

UK

HBM United Kingdom

1 Churchill Court, 58 Station Road
North Harrow, Middlesex, HA2 7SA
Tel: +44 (0) 208 515 6100
Email: info@uk.hbm.com

USA

HBM, Inc.

19 Bartlett Street
Marlborough, MA 01752, USA
Tel : +1 (800) 578-4260
Email: info@usa.hbm.com

PR China

HBM Sales Office

Room 2912, Jing Guang Centre
Beijing, China 100020
Tel: +86 10 6597 4006
Email: hbmchina@hbm.com.cn

© Hottinger Baldwin Messtechnik GmbH. All rights reserved.
All details describe our products in general form only.
They are not to be understood as express warranty and do
not constitute any liability whatsoever.

measure and predict with confidence

